

## 会 議 録

1会議名	第1回 南砺市社会教育委員会
2議題	委嘱状交付 委員長・副委員長の互選について 平成25年度南砺市教育委員会の取組について 南砺市教育委員会の組織及び業務について 平成25年度教育委員会当初予算概要について 生涯学習(前期)事業内容について スポーツ関係事業内容について 社会教育・体育施設関係について 南砺市図書館の現状について 平成25年度行事予定について
3開催日時	平成25年5月24日(金) 午後2時00分から午後3時59分
4開催場所	南砺市役所井波庁舎 301会議室
5会議出席者	南砺市社会教育委員 出席12名／全15名  委 員:影近義明、唐嶋田鶴子、木下昌子、武田和一、谷口信夫、土田久美子、 中道實、中村守、橋本正俊、松田洋一、水上洋、溝口聡、六反恵美子 事務局:教育長、教育理事、教育総務課長、生涯学習スポーツ課長、文化・世界 遺産課長、生涯学習スポーツ課長補佐、生涯学習係長、スポーツ係長、 施設管理係長、生涯学習係副主幹
6欠席者	委 員:浅田直彦、池田香織、永井則平
7傍聴者	無し
8議事内容	・開 会 田原生涯学習スポーツ課長 ・委嘱状交付 予め配布してある委嘱状をもって交付 ・開会あいさつ 高田教育長あいさつ ・委員長・副委員長の互選について 事務局の案により、委員長に武田和一氏、副委員長に土田久美子氏 を選任 ・委員長あいさつ 武田委員長 ・自己紹介 社会教育委員、事務局の自己紹介 ・進 行 武田委員長 ・報告事項 (1)平成25年度南砺市教育委員会の取り組みについて説明 事務局:(資料1に沿って説明)

(2) 南砺市教育委員会の組織及び業務について説明

事務局：(資料2に沿って説明)

● 質疑応答

委員：社会教育委員会はどこに所属しているのか。

事務局：生涯学習スポーツ課である。

(3) 平成25年度教育委員会当初予算概要について

事務局：(資料3に沿って説明)

● 質疑応答

委員：小中学校就学援助費の財源について、2,391万円のうち国県支出金が20万円と額が少ないが。

事務局：特別支援関係に係る経費が、国庫補助対象である。

委員：公民館振興費について、今年は家庭教育に力を入れていくということで、135万円の予算がついているが具体的にはどのようなことに使われるのか。

事務局：これについてはこのあと資料4のほうで説明をする。

委員：芸術文化推進事業の中に、井波美術館バリアフリー改修工事があるが、井波美術館というのはあるのか。

事務局：井波美術館は、八日町どおりから瑞泉寺に向かって右側にあり、銀行を改修した建物である。現在、車椅子の乗り入れができない状態であり、入口を左側面にすることで、道路と同じ高さとなり、階段を使わなくてもいいことになる。

副委員長：井波総合文化センター事業と福野文化創造センター事業の改修はいつ頃なのか。

事務局：ホールを抱えている施設であるので、利用団体とも調整し、年内には改修したいと考えている。

(4) 生涯学習(前期)事業内容について

事務局：(資料4に沿って説明)

● 質疑応答

委員：青少年教育関連事業の子ども体験教室については私自身、スターウォッチングに関わっており、何件か問い合わせもきている。大人だけでも参加できるのか、また中学生は参加できるかと言われたが、参加してもいいですよと言っている。できれば中学校にもA3の大きさのチラシ1枚でも頂ければありがたい。あと、学遊塾について、昨日の新聞にインターネット市民塾が、今年度の目標を、60講座8,500人としている。南砺市とはエリアも全然違うが、なんと市民学遊塾の場合、どれくらいの規模を設定されているのか。また、今年で8年目になると思うが、運営の仕方の大枠は、スタートしたときとほぼ同じである。講座回数、受講料等については柔軟に対応していくよう

に変えていくことを考えているのか。

事務局:学遊塾をスタートしたときは、市内公共施設の使用料は減免措置となっており、今の受講料設定で補ってこれた。現在は全額負担となっており受講料設定の見直しに来ている。また開講条件が10名以上からとしているが、10名以上だとなかなか開講できる講座がないので、開講条件も考えていかなければならない。

委員:資料を見てでも家庭教育に力をいれていただいていることがわかる。学校においては、朝食を食べてきていない、身の回りの準備がしてないなど、親の愛情が足りないと不安定になる。また親子の関係だけじゃなく、学校の中で問題のある行動が多くなってきている。子育てサポーター養成講座はどのような方が、どういう勉強をして、いつ頃活動をしていくのか。

事務局:今から日程等を調整し、5回の短期集中型講座として実施したい。5回とも出席された方には修了証を授与し、市の子育てサポーターに登録され、子育て支援の活動をしていただく。受講対象者は、市内在住で子育て支援活動に積極的に参加し活動できる意欲のある方だと考えている。

委員:公民館家庭教育支援事業は135万円がついており、公民館に5万円づつの補助ということであるが、公民館自体は31館あるのか。

事務局:市内の公民館は31館である。昨年の予算要求時に各公民館にこの事業の計画をあげていただいたところ、27館から要望があったので、予算計上は27館分である。この事業は1公民館につき上限が5万円であり、講師謝礼、消耗品、印刷費、郵便代、会場使用料等に使っていただきたい。

(5) スポーツ関係事業内容について

事務局:(資料5に沿って説明)

(6) 社会教育・体育施設関係について

事務局:(資料6に沿って説明)

● 質疑応答

委員長:井口屋内グラウンドの管理はどこがするのか。

事務局:自治振興会長ともお話しをしているが、できればいのちスポーツクラブでお願いしたいと考えている。しかし、今のところ組織的に弱いので、しばらくは井口行政センターで管理し、将来的にはいのちスポーツクラブに移行して行きたい。

(7) 南砺市図書館の現状について

事務局:(当日配布資料に沿って説明)

	<p>・報告事項全般について 各委員より一言ずつ意見をいただく。</p> <p>・その他</p> <p>(1)平成25年度行事予定について 事務局:(資料7に沿って説明)</p> <p>・閉会のあいさつ 土田副委員長</p>
--	--